

平成 18 年度 新規採択事業 評価調書

平成18年度新規採択事業 評価調書

(平成17年度 新規採択時評価実施)

事業の概要

事業名	油小路線(斜久世橋工区)		
事業区間	自:京都市伏見区深草中川原町 至:京都市伏見区竹田向代町	延長,幅員又は面積	延長 L = 1.5 km 幅員 W = 9.5 m
総事業費	C = 27,000百万円	完成予定年度	平成22年度
事業概要 (目的・内容等)	<p>本事業は,京都市南部地域と東部地域を結ぶ幹線道路の交通渋滞を緩和するとともに,本市を取巻く広域幹線道路と市内各地域を円滑に連絡する京都高速道路の整備を促進するものである。</p> <p>本工区は,阪神高速道路公団により油小路線斜久世橋工区として平成12年1月から事業が行われていたところであるが,平成17年10月の同公団民営化に伴い有料道路事業から一般街路事業へ事業区分が見直された。しかし,本工区は現在施工中の新十条通と油小路線(伏見区)を結ぶ重要な自動車専用道路であり,本市が引き続き街路事業として施行するものである。</p>		
箇所図			

事業を巡る社会経済情勢等

社会背景と今後の動向	<p>平成14年度に京滋バイパス(巨椋IC~久御山JCT)及び第二京阪道路(巨椋池IC~枚方東IC),更に,平成15年度に京滋バイパス,第二外環状道路(久御山JCT~大山崎JCT)が供用され,本市周辺部を通る高規格道路の整備が進んでおり,これらの道路と本市中心部を結ぶ地域高規格道路の早期の完成が求められている。</p> <p>また,第二京阪道路の延伸及び第二外環状道路の整備が進むことから,今後,本路線の果たす役割が更に重要になるものである。</p>
市民ニーズ	<p>本市を取巻く高規格道路の整備が進むことにより,そこにアクセスするための地域高規格道路の整備が望まれる。</p> <p>沿道に関係のない(通過)交通は極力高速道路利用に転換させることで,市内の渋滞を緩和させる。また,環境面においては,CO₂,NO_x及びSPMの削減効果が期待される。</p>

上位計画から見た事業の有効性

京都市基本計画		事業ごとの上位計画	具体的な効果と受益者
大項目	小項目		
安らぎのある暮らし 華やぎのあるまち 市民との厚い信頼関係 の構築をめざして	市民のくらしとまちを支える 基盤づくり	南区基本計画 伏見区基本計画 都市計画マスタープラン 道路の整備に関するプロ グラム	<ul style="list-style-type: none"> 京都市南部地域と東部地域を結ぶ幹線道路の交通渋滞を緩和 市内の増大する交通需要に対処するために必要な交通基盤 災害時による通行止め等の代替性の確保（来訪者、観光客、地元住民等）

事業の要件

環境景観への配慮事項	本路線は、平成5年に環境影響評価を行い、交通騒音については環境基準を満足すると評価されているが、更に道路交通騒音の低減を図るために効果のある排水性舗装を行う。
市民と行政のパートナーシップ	工事に先立ち地元説明を開催し、地元住民の意見の反映や地元住民への情報提供を積極的に進め、市民と行政とのパートナーシップを図っていく。

事業の評価結果

評価	A
理由	<p>本事業は京都市基本計画に位置付けられた事業であり、同計画の「多様な都市活動を支える交通基盤づくり」という政策を、都市圏内外を結ぶ自動車専用道路網を形成することにより実現していく事業である。</p> <p>事業の投資効果は、$B/C = 2.09$と高く、また、事業実施の目途も整っている。</p> <p>更に、国、京都府から財政面での支援を得ることから、本市の財政負担を軽減した財源計画となっている。</p> <p>以上のことから、本事業を緊急かつ戦略的な整備が必要な事業と評価する。</p>

評価指標の算定結果

費用便益比（C B R）	$B / C = 2 . 0 9$
--------------	-------------------

事業の必要性

評価軸	評価項目	評価指標
<p>だれもが安心して暮らせるまち</p>	<p>環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる</p>	<p>対象道路の整備により自動車からのCO2排出量が削減される 現道等における自動車からのNO2排出量が削減される 現道等における自動車からのSPM排出量が削減される</p>
	<p>災害に強く日々のくらしの場を安全にする</p>	<p>対象区間が、府地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置付けがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置付けのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置付けあり緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替道路を形成する</p>
<p>活力あふれるまち</p>	<p>産業関連都市として独自の産業システムをもつ（中心市街地の活性化）</p>	<p>交通状況の改善等、都心部及び既成市街地の活性化に大きく寄与する中心市街地内で行う事業である</p>
	<p>魅力ある観光を創造する</p>	<p>観光地・レクリエーション基地と交通拠点間とのアクセスを向上させる主要観光地間相互の到達時間の短縮に寄与する</p>
<p>市民のくらしとまちを支える基盤づくり</p>	<p>個性と魅力あるまちづくり</p>	<p>拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する</p>
	<p>多様な都市活動を支える交通基盤づくり</p>	<p>鉄道駅周辺へのアクセス利便を図れる（新幹線駅若しくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる） 第一種空港、第二種空港、第三種空港若しくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる 総重量25tの車両若しくはISO規格背高海上コンテナ輸送車に対応する広域道路整備基本計画に位置付けのある環状道路を形成する 地域高規格道路の位置付けあり 京都高速道路、第二京阪道路等の広域幹線と連携したアクセス向上につながる DID 区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)が削減される。 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置付けられている</p>